

教科名	理科	科目名	生物基礎		単位数	2単位
学年	第3学年		男子 6 名	女子 9 名	計 15 名	
教科担任氏名	横野 浩美		使用教科書	高校生物基礎新訂版（実教出版）		
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付ける。	40 %
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	20 %
観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	20 %
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則・特徴・現象を理解し、知識を身に付けている。	20 %

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	観・実	知・理	評価方法
4月	1	授業オリエンテーション	○				観察
		1章 生物の特徴					
		1節 生物の多様性と共通性					
	2	①多様な生物とその祖先	○				観察
5月	2	②細胞の構造と働き	○	○	○	○	観察・実験・レポート
		2節 細胞とエネルギー					
	2	①代謝とエネルギー	○				
6月	2	②酵素	○	○	○	○	観察・実験・レポート
6月	1	前期中間考査		○		○	考査素点
	2	③光合成	○				観察
	2	④呼吸	○				観察
7月	2	⑤ミトコンドリアと葉緑体の起源	○				観察

8月		2章 遺伝子とその働き					
		1節 遺伝情報とDNA					
	2	①ゲノムと遺伝子	○				観察
	2	②DNAの研究の歴史	○				観察
9月	2	③DNAの構造	○	○	○	○	観察・実験・レポート
		2節 遺伝情報の分配					
	3	①細胞分裂とDNA	○				観察
		3節 遺伝情報とタンパク質の合成					
	3	①遺伝子とタンパク質	○				観察
	3	②タンパク質の合成	○				観察
	2	③遺伝子の発現	○	○		○	観察・レポート
9月	1	前期末考査		○		○	考査素点
10月		3章 生物の体内環境とその維持					
		1節 体内環境					
	2	①体内環境と恒常性	○	○	○	○	観察・実験・レポート
		②体液とその働き	○				観察
	2	③体液の調節～腎臓と肝臓～	○				観察
		2節 体内環境の維持のしくみ					
	2	①自律神経系による調節	○				観察
	2	②ホルモンによる調節	○				観察
	2	③自律神経系とホルモンによる調節	○				観察
		3節 免疫					
11月	2	①生体防御と免疫	○				観察
	2	②自然免疫のしくみ	○				観察
	2	③獲得免疫のしくみ	○				観察
	2	④ヒトと免疫	○				観察
11月	1	後期中間考査		○		○	考査素点
12月		4章 生物の多様性と生態系					
		1節 植生と遷移					
	2	①生物と環境のかかわり	○				観察
	1	②植生とその構造	○				観察

	2	③遷移と極相	○				観察
1月	1	2節 気候とバイオーム ①バイオームの分布	○				観察
2月	2	3節 生態系と物質循環	○				観察
	2	①生態系 ②エネルギーの流れと物質循環	○				観察
2月	1	学年末考査		○		○	考査素点
	2	4節 生態系のバランスと保全	○				観察
	2	①生態系のバランス	○	○		○	観察・発表
3月	1	②人間生活と環境の変化	○	○		○	観察・発表
	1	③人間生活と生態系の変化	○	○		○	観察・発表
	1	④環境の保全	○	○		○	観察・発表